

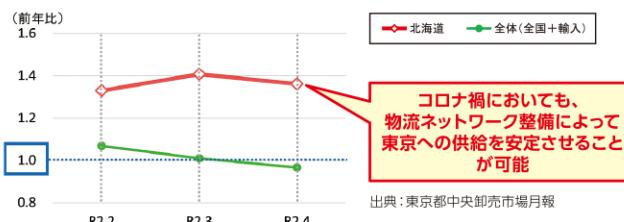
食関連産業の振興

物流ネットワーク整備によるフードサプライチェーンの強化

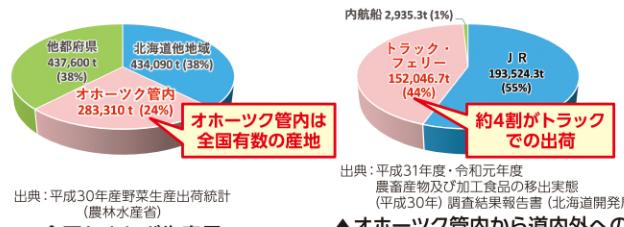
HOKKAIDO ROADS 2021

北海道は我が国の食料供給基地であることから、全国的な農作物の不作、コロナ禍で諸外国が農産物の輸出規制を実施したことなどの社会情勢変化に対応するため、農産物の安定的な供給を確保する物流ネットワーク整備が必要です。

オホーツク管内は全国有数のたまねぎ産地であり、管内から道内外への出荷では約4割がトラックによる輸送にて行われています。また、道外への出荷時は、十勝オホーツク自動車道や遠軽北見道路を経由して苫小牧港まで運ばれています。コロナ禍で国産たまねぎの需要が急増したことを受け、きたみらい農協では増産に資する設備投資が進んでいることから、物流ネットワークの整備による遠隔消費地への安定的なフードサプライチェーン強化を推進します。



▲東京市場における北海道産野菜出荷量



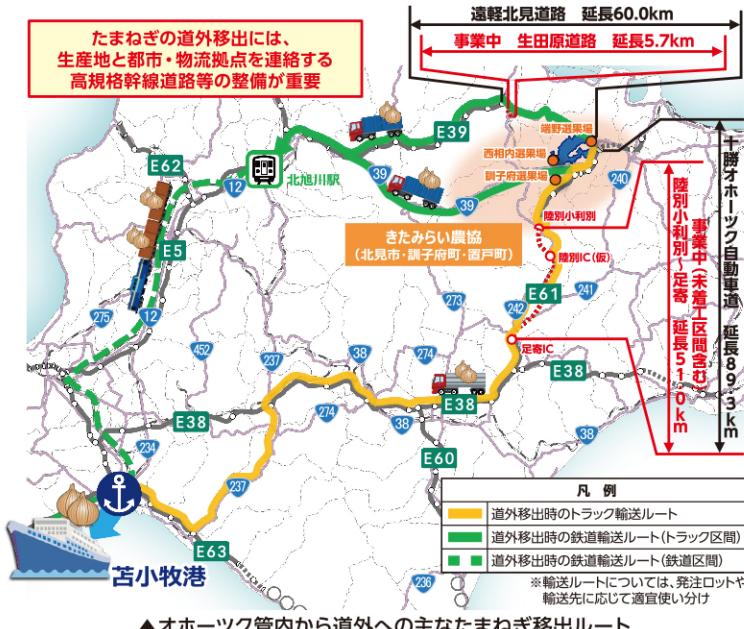
出典：平成30年産野菜生産出荷統計
(農林水産省)

▲全國たまねぎ生産量

たまねぎの増産に資する設備投資 (きたみらい農協)



たまねぎの道外移出には、
生産地と都市・物流拠点を連絡する
高規格幹線道路等の整備が重要



▲オホーツク管内から道外への主なたまねぎ移出ルート

世界水準の観光地の形成 北海道におけるサイクリングルートの推進

HOKKAIDO ROADS 2021

「北海道サイクリルート連携協議会※」では、世界水準のサイクリングルート環境の実現に向けて道内8つのルートと連携し、安全で快適な自転車走行環境の改善、サイクリストの受入環境の改善、情報発信および地域独自の取組など、官民一体となって推進します。



※北海道サイクリルート：北海道開発局、北海道運輸局、北海道、北海道商工会議所連合会、北海道観光振興機構、シニアックバイウェイ支援センターにより構成

ルート協議会：質の高いサイクリングルートを提供する団体。市町村、総合振興局・振興局、開発建設部、民間事業者団体（観光協会、商工会議所等）、自転車関連団体等により構成

●自転車走行環境の改善



→案内シールによるルートの案内



路面への通行位置明示→

●受入環境の整備



→サイクルラックや修理工具の設置
(道の駅等の立寄施設)



路線バスを活用した
自転車輸送→

●情報発信・サイクリストとのコミュニケーション



総合的な満足度
★★★★★
道の走りやすさ
★★★★★

評価・意見の投稿
(イメージ)



サイクリングマップ

Webサイトの詳細は下記の二
次元コードよりご確認いただけ
ます。



コミュニケーションwebサイト
'サイクリルート北海道'へリンク
<https://cycle-hokkaido.jp/>

●「トカブチ400」がナショナルサイクリルートの候補ルートに選定

ナショナルサイクリルート制度は、優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクリングルートの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクリングルートを強力に推進していく国土交通省の制度です。

この度、トカブチ400が候補ルートに選定され(令和3年1月29日発表)、第3者委員会による審査が行われます。



←「トカブチ400」走行風景
(三国峠)